

# 令和6年度沖縄県企業局予算の概要

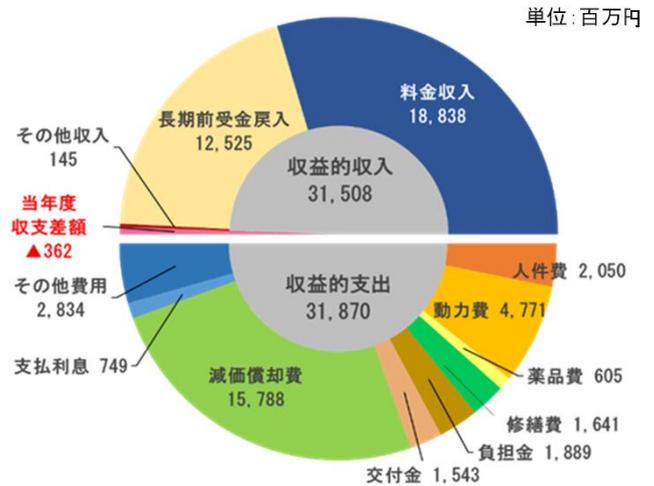
## 令和6年度水道事業会計予算

### 収益的収入及び支出(税込み)

水道用水供給事業は、28市町村及び1企業団に1日平均42万1千m<sup>3</sup>の給水を予定しています。

収益的収入は、全体で315億8百万円となっており、主な収益構成として、料金収入が59.8%、長期前受金戻入が39.8%を占めています。その他は、他会計補助金、預金利息等となっています。

収益的支出は、全体で318億7千万円となっており、主な費用構成として、減価償却費が49.5%、動力費15.0%、人件費6.4%、負担金5.9%、支払利息2.4%となっています。



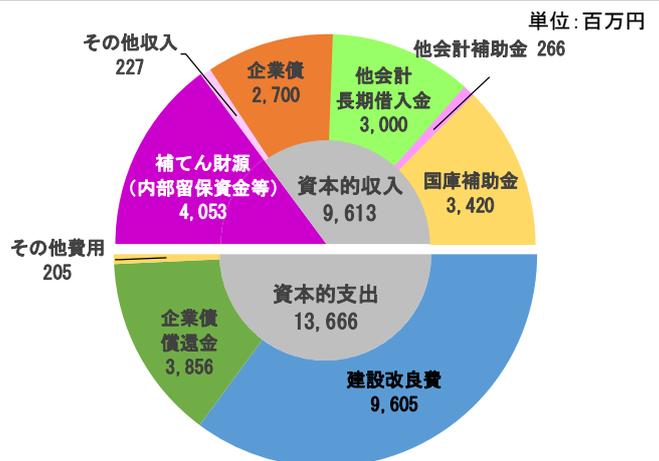
	用語解説
収益的収支	水をきれいにしてお届けすることにより料金をいただくという、事業の管理・運営に伴う予算です。
動力費	浄水場などの施設を動かすための電気料金等です。
負担金	主にダム維持管理のため国に支払う分担金です。
減価償却費	資産についての、耐用年数に応じた財産価値の減少費です。
支払利息	過去に借り入れた企業債に対して支払う利息です。
長期前受金戻入	水道施設の建設のため受け入れた国庫補助金等を減価償却等に応じて収益化したものです。

### 資本的収入及び支出(税込み)

今年度の主要な建設改良事業は、導送取水施設整備事業、水道広域化施設整備事業、浄水場等施設整備事業を予定しています。

資本的収入は、全体で96億1千3百万円となっており、国庫補助金が35.6%、他会計長期借入金31.2%、企業債が28.1%を占めています。

資本的支出は、全体で136億6千6百万円となっており、浄水施設・導送水施設等の建設改良に要する費用が70.3%、企業債償還金が28.2%となっています。



※資本的収支の補てん財源として、内部留保資金等を充てています。

	用語解説
資本的収支	水道施設を新しく建設したり、改良したりする事業のための予算です。
国庫補助金	水道施設の建設・改良のために国から受け入れた補助金です。
他会計長期借入金	水道施設の建設・改良のために一般会計から借り入れた資金です。
企業債	水道施設の建設・改良のために借り入れた資金です。
企業債償還金	過去に借り入れた企業債元金の返済です。
内部留保資金	事業活動に伴い内部に蓄積される資金のことです。主に建設改良のために使用されます。

# 令和6年度沖縄県企業局予算の概要

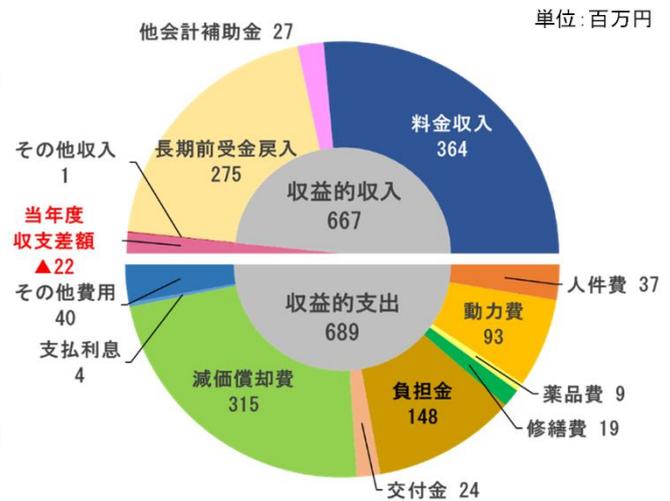
## 令和6年度工業用水道事業会計予算

### 収益的収入及び支出(税込み)

工業用水道事業は、金武湾、中城湾港新港地区、糸満工業団地、名護西海岸地区等にある110事業所に1日当たり約2万5千㎡の給水を予定しています。

収益的収入は、全体で6億6千7百万円となっており、主な収益構成として、料金収入が54.6%、長期前受金戻入が41.2%を占めており、その他は、他会計補助金、預金利息等となっています。

収益的支出は、全体で6億8千9百万円となっており、主な費用構成として、減価償却費が45.7%、動力費13.5%、負担金21.5%、人件費5.4%となっています。



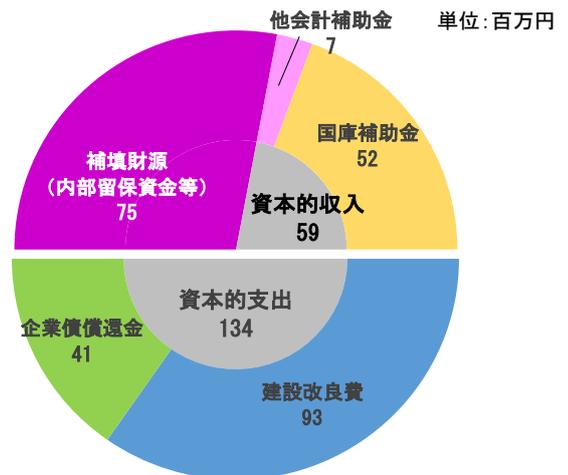
	用語解説
収益的収支	水をきれいにしてお届けすることにより料金をいただくという、事業の管理・運営に伴う予算です。
動力費	浄水場などの施設を動かすための電気料金等です。
負担金	主にダムの維持管理のため国に支払う分担金です。
減価償却費	資産についての、耐用年数に応じた財産価値の減少費です。
支払利息	過去に借り入れた企業債に対して支払う利息です。
長期前受金戻入	水道施設の建設のため受け入れた国庫補助金等を減価償却等に応じて収益化したものです。

### 資本的収入及び支出(税込み)

今年度の主要な建設改良事業は、導水施設整備事業を予定しています。

資本的収入は、5千9百万円となっており、国庫補助金が88.1%、他会計補助金が11.9%となっています。

資本的支出は、全体で1億3千4百万円となっており、主な構成は導送水施設等の建設改良に要する費用が69.4%、企業債償還金が30.6%となっています。



※資本的収支の補てん財源として、内部留保資金等を充てています。

	用語解説
資本的収支	水道施設を新しく建設したり、改良したりする事業のための予算です。
国庫補助金	水道施設の建設・改良のために国から受け入れた補助金です。
企業債	水道施設の建設・改良のために借り入れた資金です。
企業債償還金	過去に借り入れた企業債元金の返済です。
内部留保資金	事業活動に伴い内部に蓄積される資金のことです。主に建設改良のために使用されます。